

8月は「非核平和月間」

泉南市では、平和の意味や大切さをみんなで考える機会とするため、毎年8月を「非核平和月間」とし、「非核平和の集い」をはじめ、様々な取り組みを行います。

今回の催しを通じて戦争の悲惨さを知っていただき、日々の生活の中では意識することの少ない、命の大切さや平和の尊さを考えていただける機会としていただきたいと思います。

●懸垂幕の掲示…市役所

8月1日（火）～8月31日（木）

●ビデオ上映…市役所玄関ロビー

8月1日（火）～8月15日（火） 上映時間：10：00～、15：00～

『平和継承DVD 現在（いま）を生きる子どもたちへ語り継ぐ！私たちの戦争体験』

●非核平和の図書コーナー及び非核平和写真展…市立図書館

8月1日（火）～8月15日（火）（※月曜日・祝日休館日を除く。）

●平和DVD上映会…市立青少年センター（2階プレイルーム）

8月5日（土）『凧（たこ）になったお母さん』午後2時～

●非核平和の集い／映画上映会…市立文化ホール

8月6日（日）開演：13：30～

『この世界の片隅に』〈2016年／日本／129分〉

1944年2月。18歳のすずは、突然の縁談で軍港の街・呉へとお嫁に行くことになる。新しい家族には、夫・周作、そして周作の両親や義姉・径子、姪・晴美。配給物資がだんだん減っていく中でも、すずは工夫を凝らして食卓をにぎわせ、衣服を作り直し、時には好きな絵を描き、毎日のくらしを積み重ねていく。

1945年3月。呉は、空を埋め尽くすほどの艦載機による空襲にさらされ、すずが大切にしていたものが失われていく。それでも毎日は続く。

そして、昭和20年の夏がやってくる。



非核平和都市宣言全文

真の平和と安全は、人類共通の願望である。

しかるに近年、世界において軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類のひとしく憂えるところである。わが国は、世界唯一の核被爆国として、また、平和憲法の本質からも、再びあの広島・長崎の惨禍を絶対に繰り返させてはならない。本市においても、日本国憲法に掲げられた恒久平和主義の理念を市政に生かし、継承していくことが、地方自治の基本条件の一つである。したがって、わが泉南市は、「非核三原則」の厳守を政府に強く要望するとともに、市民に対し核兵器廃絶の啓蒙活動を行いつつ核兵器の廃絶を全世界に向かって訴え、ここにわが泉南市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年12月26日